

個体群管理（農地周辺等での鳥獣の捕獲）について

- 被害防止計画に基づき市町村が実施する**農地周辺等での有害捕獲**については、被害防止効果の向上等を図るための**PDCAの実践**を推進。
- 併せて、市町村と連携しつつ**都道府県が中心となった**、農地周辺の林地等における、生息状況の把握とそれを踏まえた**広域的な捕獲**を推進。

【被害防止計画に基づく捕獲活動におけるPDCAの実践】

Plan : 計画

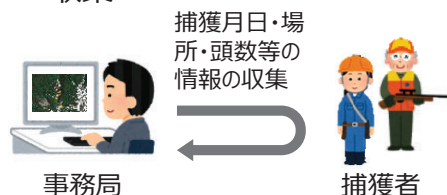
- ・実施隊員等や幅広い関係者の参画の確保等、持続的な捕獲体制を構築
- ・被害発生状況や捕獲実績等を踏まえた**捕獲計画を策定**

<項目例>

- ・捕獲場所・期間、捕獲方法、捕獲計画数、重点捕獲区域・時期
- ・捕獲活動のルールや研修予定

Do : 実行

- ・安全管理研修の実施等
- ・計画に基づく**捕獲活動**
- ・捕獲活動・実績に係る情報収集



Action : 改善

- ・点検結果を基に**関係者で協議、対応を決定**
- ・次期捕獲計画への反映

<対応例>

- ・被害位置や目撃情報等を踏まえた重点捕獲区域・時期の変更
- ・捕獲実績等を踏まえたわな位置・設置時期の変更



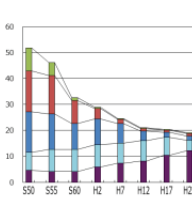
Check : 点検

Doで収集した情報や被害発生状況等を整理し分析

GISを活用した地図化



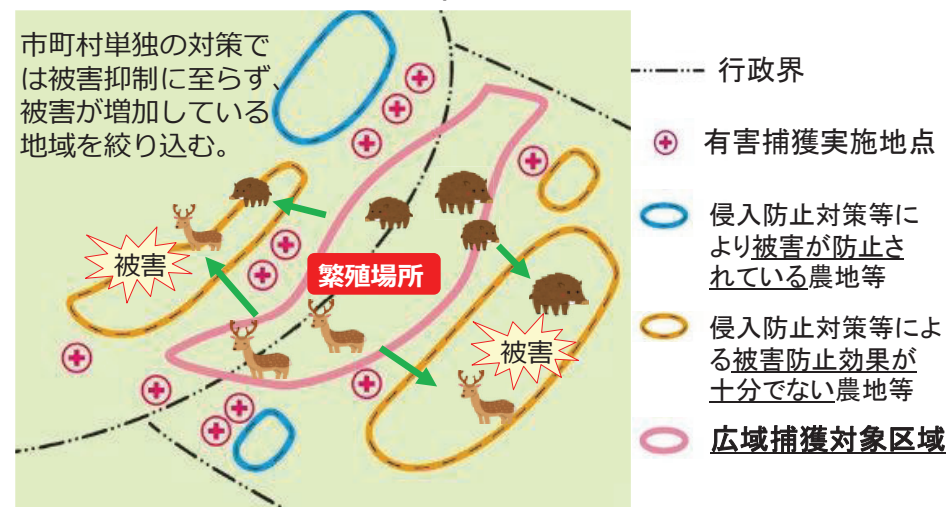
時系列データを活用した分析



【都道府県が中心となった広域捕獲】

シカやイノシシ等は、県や市町村をまたいで移動するため、①別の県や市町村に移動して生じる新たな被害を防ぐ**捕獲**、②県や市町村を跨ぐ林の中での繁殖場所での捕獲等、広域的な捕獲が重要。

(実施エリアの絞り込みのイメージ図)



(実施手順)

狩猟者団体や地域住民等との合意形成

事業実施に係る体制の整備

生息状況等の調査

広域捕獲の実施

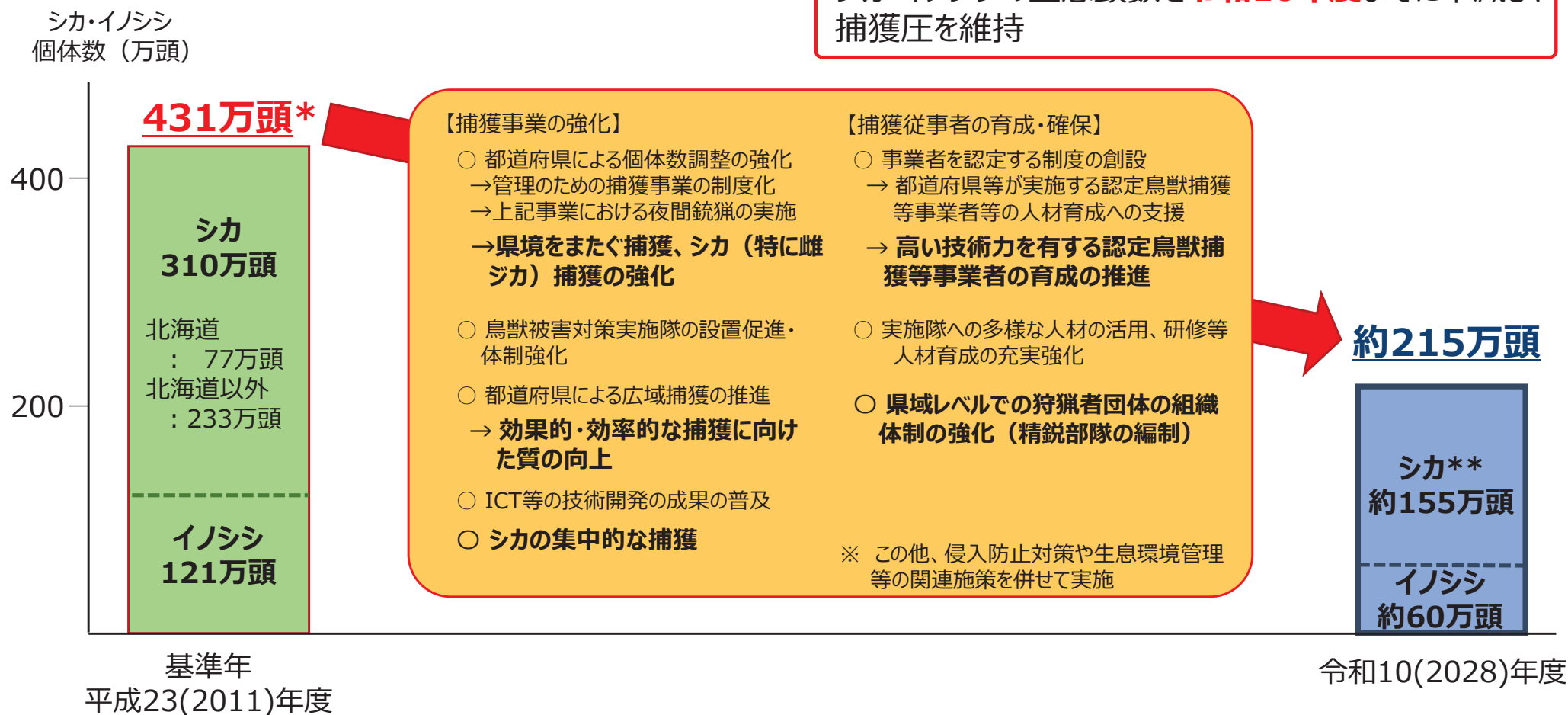
環境省と連携したシカ・イノシシの捕獲強化対策と捕獲目標

- 生態系や農林水産業等に深刻な被害を及ぼしている野生鳥獣について、**更なる捕獲対策の強化**を図り、
 - ① **シカは、令和10年度までに、生息頭数の平成23年度水準からの半減**を目指す。
 - ② **イノシシは、平成23年度水準の半減を早期に達成**し、その後も被害軽減に向けて**捕獲圧を維持**する。

【捕獲強化対策 イメージ】

当面の捕獲目標

シカ・イノシシの生息頭数を**令和10年度**までに半減し、**捕獲圧を維持**

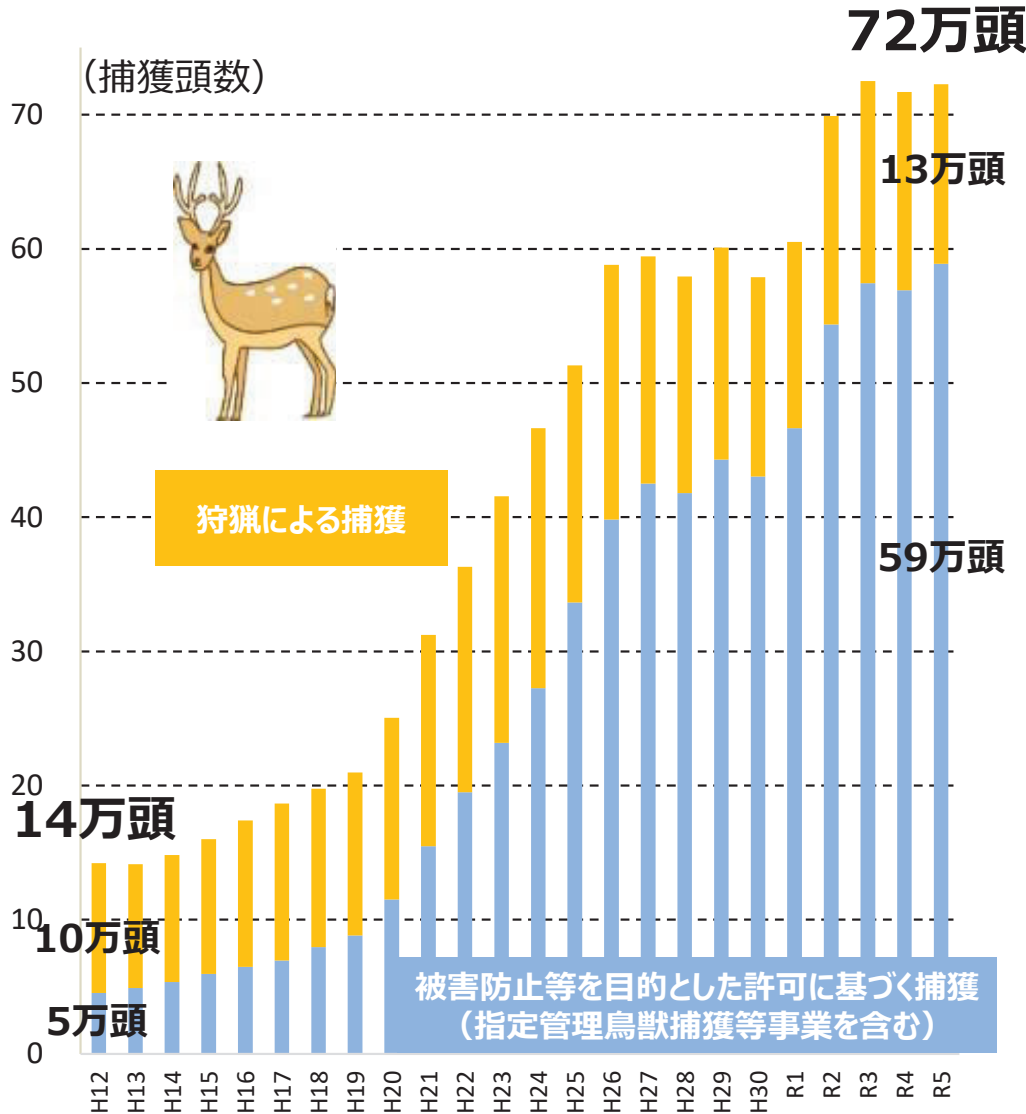


*環境省における令和3年度末時点の推定値（北海道の個体数は北海道が独自に推定）。

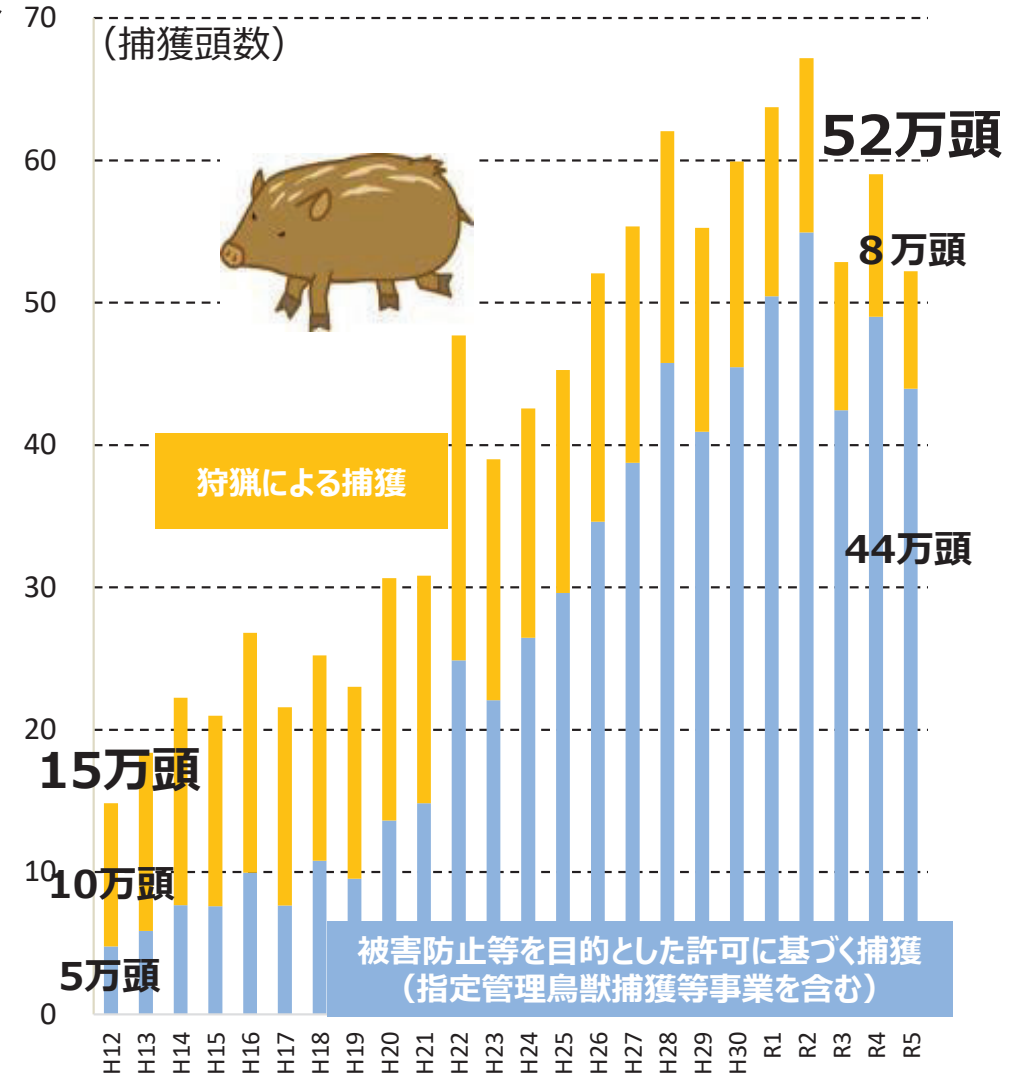
**北海道分は北海道エゾシカ管理計画（第6期：令和4～9年度）で示している基準年の推定個体数の半数（39万頭）を用いた。

シカ・イノシシの捕獲頭数の推移

○ シカの捕獲頭数推移



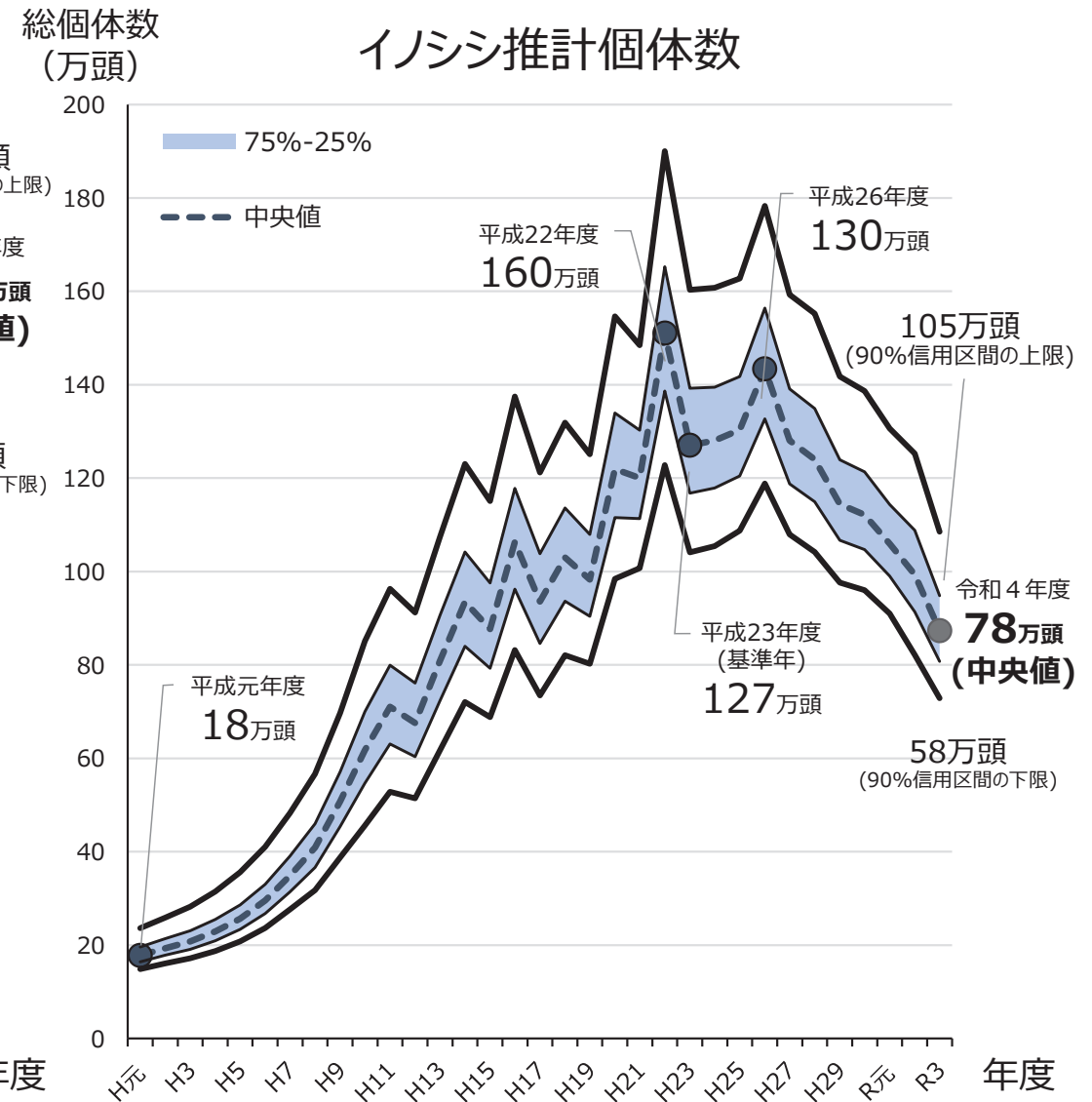
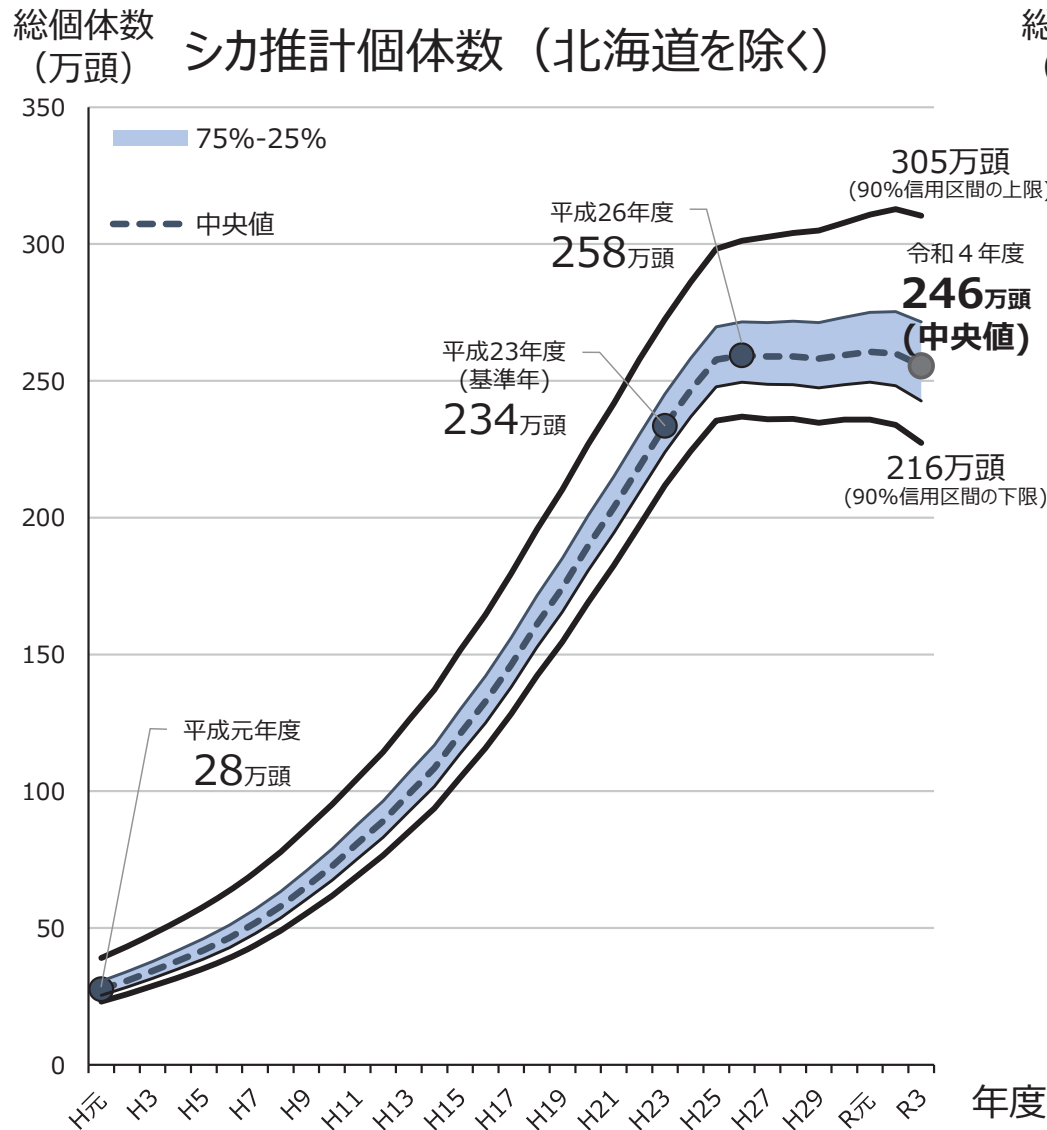
○ イノシシの捕獲頭数推移



【出典】「鳥獣関係統計」および「ニホンジカ・イノシシ捕獲頭数速報値（令和5年度）」（環境省）に基づき鳥獣対策室で作成
 ※令和2(2020)年度以前は「鳥獣関係統計」参照。令和3(2021)年度以降は「ニホンジカ・イノシシ捕獲頭数速報値（令和5年度）」の数値

シカ・イノシシの個体数推定結果について

- シカは平成元年度～令和4年度で約9倍（中央値）に増加。平成26年度以降はほぼ横ばいで推移。
- イノシシは平成元年度～令和4年度で約4倍（中央値）に増加。平成26年度以降は大幅な減少傾向。



【出典】「全国の二ホンジカ及びイノシシの個体数推定等の結果について」（環境省）